

# 協力準備調査(BOPビジネス連携促進)

## インドネシア・農業者向け天候インデックス保険事業準備調査

SOMPO リスクアマネジメント株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
一般財団法人リモート・センシング技術センター、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

### 開発課題

- ・ インドネシアでは、気候変動などに起因するとみられる極端な気象災害の影響が深刻化している。
- ・ 干ばつ被害は、特に小規模農業従事者(BOP層)の経営に大きな打撃となっており、貧困のスパイラルを招いている。

### 提案事業

- ・ 小規模農業従事者(BOP層)に対して、降雨量が一定以下になった場合に、気象データから迅速に保険金を支払う「天候インデックス保険」を提供することにより、干ばつからの迅速な回復を支援し、小規模農業従事者(BOP層)の自然災害へのレジリエンス(強靱性)向上を目指す。

### 「協力準備調査(BOPビジネス連携促進)」を通じたビジネスモデル構築、事業計画立案

#### 保険商品の開発・設計に必要な気象データ等の収集・分析

- ・ インドネシア気象庁とMOUを締結し、公的機関から気象データを継続的に受領できる体制を確立

#### 販売チャネルの検討

- ・ 農村銀行、商業銀行、NGO、イスラム団体などと幅広く協議

#### 農業従事者への保険商品への理解促進

- ・ 保険商品に馴染みがない小規模農業従事者(BOP層)に保険への理解を促すため、農業従事者本人に代わって、ウェブサイトを通じて募集したドナーが保険料の支払いをサポートする「クラウドファンディング形式」で試験販売を実施



### 成果

- ・ インドネシア金融サービス庁から、マイクロインシュアランス保険の販売認可を取得。
- ・ 2地域(ジャワ島東部、ロンボク島)において、保険商品のドライランや試験販売を実施。延べ300名以上の農業従事者が参加。各農業従事者に対し、実際に保険証券を発行したことで、保険商品への理解が深まった。